

もりのまなびや2017 キッズクラブ

10

森を元気に しよう！

10月Aコースは11月に延期して森の手入れ。秋の森から冬の森へとうつりかわる季節の手入れになりました。森が元気になってほしいですね。

少しはだ寒い空気のなか、みんなの力を合わせて手入れをするためにグループでいっしょに力をあわせる体験をしました。



森へ移動し、森のしくみがストーリーになった紙芝居を聞きます。



そして、いよいよ手入れ。小さなドングリの木の赤ちゃんに目印をつけました。地面をおおってしまったササを切ったり、人の顔に当たりそうな細い枝を切ったり、人が過ごしやすい森をめざして手入れをしていきます。



自分たちが手入れした森が、「明るくなった、すっきりした」という声がかどもたちから上がりました。保護者さんにも頑張ってもらいました。



お昼ご飯のあとは、手入れした森で遊ぼうと、グループごとに遊びを考えてやってみました。低学年はクワガタ探しを始めました。クワガタはいなかったですが、カブトの幼虫を発見！



高学年メンバーは、手入れで切った枝を使って隠れ家づくり。紐を使うことなく、枝や葉っぱだけでうまく隠れ家を作っていました。



中学年は、色オニ、鬼ごっこなど、手入れをして、動きやすくなった森を目一杯つかって、いっぱい走っていました。ルールも自分たちで決めていました。



遊んだあとは、遊べる森を増やしていくにはどうしたらいいか、もっと楽しく遊べる森するには自分に何ができるのか、考えました。



手入れをした森の名前を「キッズひろば」にして、森の素材から広場の看板を作りました。12月のキッズクラブまでに飾っておきます。